

友和

NO.551

発行日 令和5年3月1日

発行 社会福祉法人 友和の里

〒738-0203

広島県廿日市市友田 218-38

TEL0829-74-2157 FAX0829-74-2154

HP : <http://yuuwanosato.com/>

発行者 施設長 川本 靖



雪の日の通所棟前広場（正面写真）と送迎バスからの下車風景（右下写真）

今年の冬はよく雪が積もりました。友和の里もすっぱり雪に包まれてしまう日が何日かありました。雪の日の朝は早くから雪かきをしたり、融雪剤をまいたり、職員はおおいそがし…。事前に融雪剤を市役所にもらいに行ったり準備をしても慌ててしまうのが雪の日です。真っ白に凍ってしまう道路が友和の里の近くにもあります。雪の日は送迎担当のベテラン職員もいつも以上に気をつかいます。送迎バス^{送迎バス}や車はできるだけ建物に近いところに寄せて、みんな安全に下車してもらいます。



にゅしよ レクリエーション



入所部では 2 月のレクリエーションで「鬼のお面」を作りました。見本を参考に作ってもらったのですが、角を眉毛のように貼ったり、口の向きを上下逆に貼って笑顔に見せるなど、利用者さんの自由な発想には驚かされっぱなしでした。みんなで楽しい工作の時間を過ごす事ができました。

生活支援員 乙原潤



赤鬼と青鬼と…

鬼の色、これには意味があるそうです。赤鬼は欲望の象徴で、豆をぶつけることで自らの悪心が取り除かれる。青鬼は憎しみや怒りの象徴であり、豆をぶつけることで幸福や利益に恵まれる。つまりどちらの鬼にも豆をぶつけたほうがいいようです。なんとほかにも黄色緑色黒色の鬼もいるとか。

けんしゅうほうこく



2月9日に入所部で虐待防止研修を行いました。この研修では、動画を視聴し虐待防止法について学び直しをしました。また、グループワーク形式で事例検討をおこない、入所部職員間で互いの意見を共有する事が出来ました。今回の研修を通し、まだまだ理解不足な部分があった事を実感しました。今後の利用者さんの生活を支援するにあたり、今回の研修内容を活かしより良い支援が出来る様にチームで取組んで行きます。

生活支援員 荒川 渡



※グループワーク|共通の問題に取り組んだり、共同で作業を行ったりする人たちの集団。



つうしょ

陶芸班

2月は、貼り絵のカレンダー作りをしました。みなさん慣れた様子でおりがみを思い思いにちぎります。お一人ずつおりがみを貼りましたが、待っている間は自立課題をして楽しく過ごされました。春らしいカレンダーが出来ました。

生活支援員 米中 美恵



創作班

創作室には裏山に面した窓があるので、外の様子がとてもよくわかります。遊歩道も見えるので、入所の皆さんがお散歩されているのが見えたり、雪の日、雨の日はつい外を眺めてしまいます。季節の移り変わりがよく分かる作業室です。

生活支援員 富永 緑



療育班

療育班では大雪が降った日にみんなで雪遊びを行いました。雪が降った日にしかできない事なので皆さん楽しそうな表情でした。ステキな雪だるまが完成しました。

生活支援員 平田 譲一



貝通し班

寒さも少し落ち着きましたかね。日中は暖かくなる日が出てきました。貝通し班のみんなは元気よく作業されています。時には冗談を言い、笑うひと時もあります。みんな作業が好きで貝通しに来るのが楽しみみたいです。これから暖かくなり通所メンバーもグループホームメンバーと一緒に行動出来る日が来れば作業だけでなく、楽しい行事を行っていきたいと思っています。

生活支援員 三宅 将

グループホーム

・フレンドホームより

2月14日(火)、休日にフレンドホームゆうわ食堂より火災が発生したと想定しての避難訓練をグループホームゆうわとフレンドホームゆうわ合同で行いました。休日は職員の数が平日よりも少ないため、有事の際に入居者の方々に迅速に避難して頂けるよう、避難の手順や通報・初期消火について消防士の方々の指導に従い訓練を行いました。今回も前回と同様に、駐車場にある車両内を避難場所とし、全員が避難し終わるまで乗車したまま待機して頂きましたが、皆さん落ち着いて座席に座っていらっしゃいました。避難訓練終了後、グループホームゆうわの入居者の方も職員と一緒に消火訓練に参加され、訓練用の水消火器で火災発生場所に見立てた的めがけて上手に水を当て、的を倒されていました。グループホームゆうわで火災が発生した場合における避難経路等の指導も受けました。

生活支援員 堂面 大地



2月の夕食会のメニューは海鮮丼でした。給食メニューでは、なかなかでない物を食べよう!というコンセプトの元、年間でメニューを決めてきました。来年度も皆さんに楽しんで頂けるようなメニューを栄養士と考えていきたいと思います。

生活支援員 吉村 愛



グループホームゆうわでは、毎朝7時ごろにラジオ体操をしています。以前は「夏季限定でやります」とご紹介したラジオ体操ですが、ご入居者の運動不足解消や、健康状態の維持・改善を目的としまして、あれから継続して実施しています。参加は強制ではなく、あくまで自由参加なのですが、ほとんどの方が参加して下さいます。ちなみにラジオ体操は、科学的にも健康状態を示す数値が良くなることが証明されているようです。※今の時期は外が寒すぎるため室内で行っています。

生活支援員 香川 剛司



つうしょ

レクリエーション



2月の開所日には、バレンタインデーにちなんだ行事を行いました。ハートのパネルを作成し写真撮影をしたり、午後からはケーキを食べました。「うさぎがかわいい」「おいしい」など、会話が弾み明るい雰囲気となりました。

生活支援員 河村美穂

虐待防止内部研修(通所部)

2月11日(土)に通所部の虐待防止の内部研修を行いました。これまでコロナ禍で控えていましたが、今回は部署ごとで、久しぶりの対面研修でした。

動画を使って「虐待防止」について学び、グループワークで「身体拘束」について意見を出し合いました。



※コロナ前には夏と冬の年二回職員全体で研修をしておりましたが、現在、部署ごとで研修を実施しています。

ゆきがふったひのこと

少し暖かくなった昼からは雪遊びができました。ふわふわの雪は丸まりにくくて、雪だるまにするのに時間がかかりました。



ちょっと ちいきと

2月にご紹介した株式会社 WOODPRO 中本さんのインタビュー後半になります。先月は初めてきく言葉もたくさんあり、そして足場板について初めて知る方もいたと思います。もともと建築現場で使う資材であった足場板。いまや若者を中心に DIY としての利用価値が見直され、被災後の支援の材料として提供されてきたストーリーや事例を先月号では紹介していただきました。今回はさらに地域との結びつきについてお聞きしています。

▶地域との結びつきについてお考えをきかせてください

地域でこだわってきたのは、地域からの採用ですね。地域の高齢者の採用を 2000 年くらいから始めました。地域の人を工場がある地域で採用しようと、地元貢献も念頭に置いて高齢者を雇用しています。長く勤め上げられた方が多いので、若い社員にもいい刺激になっています。障害のある人も雇用しており現在26人(60歳以上)に働いてもらっています。高齢者を採用するときは1週間体験してもらって条件をクリアした方を採用する仕組みにしています。しかしながら高齢者はだんだん仕事ができなくなります。リフトが運転できなくなったり、耳が聞こえなくなる、膝が痛くなったり、足が上がりなくなってくる。そうした問題にも向き合いながら雇用していかなければなりません。高齢者を雇用するのは簡単ではないです。うちでは年に一度12月に自己申告書をもとに個人面談をして意向や現状を確認しています。



さらに地域の学生支援やクリエイター支援も考えています。これからを担う若い人たちとご縁ができて事業ができたらいいいし、これからのつながりに期待して無償で資材の提供やワークショップなどをしています。また商工センターにある直営 WOODPROSHOP の近くにレインボー倉庫広島という施設を運営しており、そこでも若いクリエイターやショップオーナーの支援をしています。そこでいい作品ができて自信もってもらえたらなおいい。もともと足場板のことを知らない人が多いので、知ってもらえるとたいていファンになってくれます。

今後も少しずつ地域社会のために貢献していきたいと考えています。うちの強みを生かして(材料や使い方)お手伝いしたいですね。声がかかれば材料をもって行って、必要だったら人を集めて、みんなで支えてというのがいいかなと思っています。そこでみんなでおいしいものを作って食べて飲んで、つながりが生まれて、そうして支えあいになっていく。地域はこの地域社会だけでなくもうちょっと広く広島県とか、うちは全国にお客さんがいるので、広く地域をとらえるようにしています。人は一人では生きていけないし、支えあって生きてゆく。エリアを広くとらえることで、何かあった時に広範囲のみんながヘルプに入れます。みんなそれぞれ得意技があり、知識を持ってる人もいれば材料を持っている人もいます。それぞれが無理なく自分の持ち味をだしながら関わるのがいいですね。昔はシェアは「シェアとるぞー」と言って占有(独り占め)することを意味していたけれど、今は分かち合う意味合いに変わってきています。困っている人がいればみんなで支える。お金は出せばそれまでだけど、そうでないところでみんなで支えあう、それがつながりになると思っています。

友和の里とウッドプロさん、支援される側と支援する側にあるように見えますが、先月の中本さんのお話にもあった、まわりまわるモノだとすれば。友和の里はこれから地域に対してどうあればいいのか、考えさせられますね。そして地域は小さくも大きくもとらえることができるんだなあ気づかされました。みなさんの思う地域はどのあたりまででしょうか。

地域交流支援員 日向のり子



<3月の主な行事予定>

1(水)	管理者会議	18(土)	通所開所日
9(木)	理事会	21(火)	春分の日
17(金)	評議員会		

3月3日はひなまつり、桃の節句になります。桃は木へんに「兆」と書くように、物事や生命の兆しを意味しており、邪気を払う神聖なものとして昔中国では用いていました。桃の花をかざることには邪気払いの意味合いがあるそうです。桃の種は「桃仁」とよばれ漢方では血の巡りをよくする働きがあるとされ、婦人科系の漢方薬に使用されています。

節分行事食

2月3日は節分でした。昼と夜のこんだてを紹介します。お寿司がたくさんできています。巻きずしは海苔ではなく薄焼き卵でまいてありました。



巻きずし
いなり
すまし汁
五目煮豆
鶏のしそ竜田あげ
ゼリー



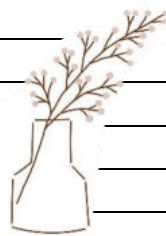
ちらし寿司
豆腐のすまし汁
いわしのかば焼き
和え物
くだもの



お膳に用意されているカードです。利用者さんにイベントを伝える工夫のひとつですね。

3月の献立

1	水	チャプチェ丼・スープ・酢の物・牛乳
2	木	ごはん・スープ・鮭のピカタ・炒め物・ヨーグルト
3	金	行事食
4	土	
5	日	
6	月	ごはん・スープ・ロールキャベツ・サラダ・果物
7	火	ごはん・味噌汁・鶏肉のわさび照焼き・煮物・果物
8	水	フィッシュバーガー・スープ・サラダ・牛乳
9	木	ごはん・味噌汁・牛肉と野菜の炒り煮・酢の物・ヨーグルト
10	金	ごはん・スープ・厚揚げの中華煮・和え物・果物
11	土	
12	日	
13	月	チャーハン・スープ・餃子・酢の物・果物
14	火	ごはん・味噌汁・煮魚・炒め物・果物
15	水	コロッケパン・スープ・サラダ・牛乳
16	木	ごはん・スープ・豚肉としめじの中華炒め・酢の物・ヨーグルト
17	金	ごはん・味噌汁・鯖南蛮・和え物・果物
18	土	ハヤシライス・スープ・サラダ・果物
19	日	
20	月	ごはん・味噌汁・炒り豆腐・和え物・果物
21	火	
22	水	中華丼・スープ・酢の物・牛乳
23	木	ごはん・味噌汁・鮭の菜種焼き・和え物・ヨーグルト
24	金	ごはん・味噌汁・とんかつ・和え物・果物
25	土	
26	日	
27	月	ごはん・汁物・鯖の味噌煮・酢の物・果物
28	火	ごはん・スープ・豚肉のパン粉焼き・サラダ・果物
29	水	三色丼・汁物・和え物・牛乳
30	木	ごはん・味噌汁・さわらの香り漬け焼き・炒め物・ヨーグルト
31	金	ごはん・味噌汁・チキン南蛮・和え物・果物



やむをえず献立を変更することがあります。あらかじめご了承ください